

✓ 2008年6月リリース SIOS Applications Update1 機能追加・改善内容

No.	システム名称	機能分類	機能追加・改善内容
1	Sales Force Automation+	案件管理	案件には「顧客」(発注元)、「得意先」(エンドユーザ)の2つが設定出来ますが、案件に紐付く日報を作成する際には、案件の「顧客」と日報の「顧客」(訪問先)が一致している必要がありました。 今回のUptdate1で案件と日報の「顧客」選択が一致をしていない場合にも日報と案件の紐付けが可能になるよう変更しました。
2	Sales Force Automation+	案件管理	案件の受注確度を予め設定した活動パターンのチェック状況によって変動させる機能を追加しました。
3	Sales Force Automation+	日報管理	日報登録時に案件情報も同時に作成できるように案件登録機能を追加しました。
4	Sales Force Automation+	日報管理	日報登録時に、プロジェクト情報の紐付けが可能になるよう変更しました。 ProjectKeeper との連携の場合。
5	Sales Force Automation+	日報管理	他人の日報閲覧時、その日報に対するメッセージの登録を可能としました。 日報が閲覧できる場合に対応。
6	ProjectKeeper	プロジェクト計画	工程の先行工程を複数選択可能に変更し、工程の開始条件が複数の工程の終了である場合に対応しました。
7	ProjectKeeper	プロジェクト計画	ガントチャートの Excel 出力を日単位のみから画面上で選択可能な「日単位」、「週単位」、「月単位」に対応しました。
8	ProjectKeeper	プロジェクト計画	ガントチャートを Excel 出力した際、画面イメージと同様に、進捗状況を表示し、青い予定バーに黒の進捗状況を重ねて表示するよう対応しました。
9	ProjectKeeper	プロジェクト計画	ガントチャートにて、メンバーの負荷状況を確認しながらのアサインを可能としました。 従来のプロセス構成情報タブでのメンバーアサイン機能は削除。
10	ProjectKeeper	リソース管理機能	社員毎のアサイン状況をガントチャート形式で表示する機能を追加し、これによりプロジェクトを横断したリソースの空き状況・負荷状況の確認を可能にしました。
11	ProjectKeeper	SFA 連携	ProjectKeeper で登録された実績原価を SFA の関連する見積明細に反映させる機能を追加しました。
12	共通	-	各種登録画面の画面表示高さをスクロールバーが出ないサイズに変更しました。

(以上)